

フレキシブルチューブ 施工要領書

ワンダーチューブ リング式・フリーチューブ

ゼンシン 株式会社

施工手順

1. 作業前の確認



ワンダーチューブ リング式の形状

表1 部品表

品番	部品名	材質
1	チューブ	SUS304 ※1
2	袋ナット	C3604BD ※2
3	リング	SUS304
4	パッキン	ノンアスベスト ※3

※1 チューブの材質: 3/4"はSUS316L

※2 ナットの種類: C3604BD, SUS304

※3 パッキンの種類: ノンアスベスト, NBR, EPDM, PTFE

施工前に次の事項についてご確認下さい。

- 口径、長さが適正か
- シール面に損傷が無い

2. 配管への取り付け

① チューブを所定の形状に曲げる。

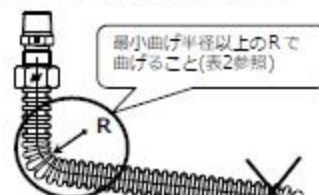


表2 最小曲げ半径

口径	最小曲げ半径 R(mm)
1/2"	45
3/4"	60
1"	75

ナット端部から3山分を曲げないこと

⚠ 局所的な曲げは避け、引張り、圧縮、ねじれ、折れなど無理な力が加わらないよう所定の形状に曲げて下さい。

② パッキンが装着されていることを確認し、配管側ネジ部に手締めでセットする。

③ 他方も同様に取り付ける。

3. 袋ナットの締め付け

① チューブを手で固定し、フレキ本体にねじれが発生しないよう注意してスパナ等で袋ナットを手締め状態から1/4～1/3回転程度締め付けます。

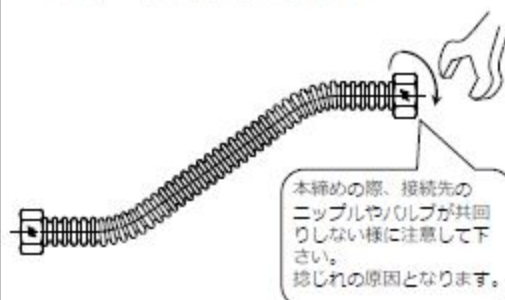
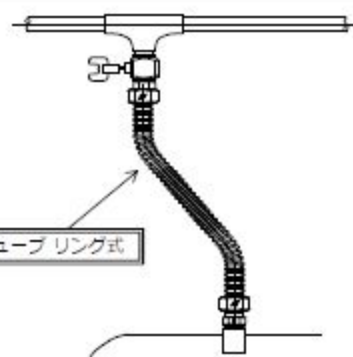


表3 締付トルク

トルクレンチを使用する場合
表3の値を目安に締め付けて下さい。

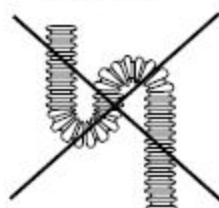
口径	締付トルク
1/2"	19.6N・m
3/4"	24.5N・m
1"	29.4N・m

設置例



ワンダーチューブ リング式

悪い曲げの例



⚠ 注意事項

- ウォーターハンマーの発生が懸念される配管系では、フレキが損傷する恐れがあります。適切な衝撃防止対策を行って下さい。また、フレキ両側の配管をフレキ近傍でしっかりと固定して下さい。
- 配管の溶接作業は、フレキ取り付け前に施工して下さい。やむを得ず製品取り付け後に溶接や溶断をする場合は、溶接電流が流れないよう、適正なアースをとり、製品に保護カバーを被せて下さい。
- 管内流速（内径基準）が3 m/secを超えない様に口径を選定して下さい。
- ステンレスに対して腐食性を有する流体については、ZTFシリーズ(フッ素樹脂製)をご使用下さい。
- 袋ナットの締め付けの際には、製品がねじれない様にご注意下さい。寿命を縮める原因となります。